

第15回 絵のまち尾道四季展 入賞作品紙上展 (敬称略)

問 絵のまち尾道四季展運営委員会事務局
(市立美術館内 ☎0848-23-2281)

展示期間 2月23日(土)~3月10日(日)

- 入賞・秀作作品 市立美術館(会期中無休)
観覧料 一般300円 高校・大学生200円 中学生以下無料
- ※歴代グランプリ作品と受賞者の近作を併せて展示
- 入選作品 市内商店街ほか

奨励賞・秀作・入選作品には販売できるものもあります

詳しくは事務局へお問い合わせください。



尾道賞 [グランプリ]

「opening」 鈴木奈緒(広島市) 日本画



今回は、尾道賞を頂きありがとうございました。こんな素晴らしい賞を受け取ることになり、思いもよらずただ驚いております。この作品は尾道の街を一望した景色を描いています。千光寺や展望台、ロープウェイの中などから見える街の全景はとても美しく、尾道を訪れた多くの人の記憶に残っているのではないかと思います。私は中でも昇っていくロープウェイの中から見える街の様子が素敵だと思いこの場所から描きました。

金賞



「尾の小路」
浅野園子(滋賀県) 日本画



尾道に初めて出会ったのは30年程前。強烈な印象を受け一度作品にしてみたいと心に秘めていました。小路が創り出す楽しい異次元空間、それが千光寺に導かれる様な不思議な世界を面白く感じ絵にしました。

銀賞



「御袖天満宮の門」
岡本 錦(山口県) アクリル画



御袖天満宮の門は、拝殿から急傾斜の石段を五十段余り降りたところにあります。この転がり落ちそうな石段のスロープと、門のどっしりした存在感と、そして、向こうに広がる尾道の街並みと、みんな描きたくて、1枚の絵の中にすべてを入れ込みました。

銀賞



「花火」
久木一男(滋賀県) 油彩画



花火の強い閃光と、大きな音は身体にその存在を意識させます。とりわけ尾道の花火は、前者に加え、郷愁や旅愁を強く印象付けました。花火と尾道水道、町が一つの詩を奏でているようでした。その感動、感傷を描けたらと思いました。

銅賞



「坂~しまなみ」
岡田貞子(東京都) アクリル画

銅賞



「尾道美術教室」
宮下正孝(新潟県) 油彩画

銅賞



「西國へ・山門のさくら道」
原田賢治(愛知県) アクリル画



小林和作奨励賞
「造船所の見える瀬戸」
森岡勇二(三原市) その他



尾道市長奨励賞
「いつもの朝」
藤田哲也(三重県) 日本画



尾道市議会議長奨励賞
「暮れゆく島々(芸予諸島)」
岡野吉裕(尾道市) 日本画



尾道商工会議所会頭奨励賞
「船影」
西川恵津子(奈良県) 油彩画



尾道市教育委員会奨励賞
「再会のために登るだんだんの道(朝)」
野中 募(長崎県) アクリル画



尾道市立美術館奨励賞
「朝の印象」
生田長久(大阪府) 油彩画



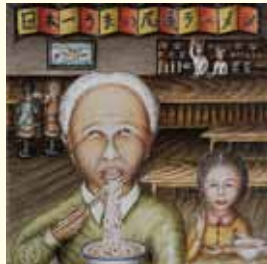
尾道観光協会奨励賞
「尾道情景」
加鹿幸司(山口県) その他



尾道市文化協会奨励賞
「寺と坂道の街」
村上厚雄(三原市) 油彩画



尾道市商店街連合会奨励賞
「渡船場のある風景」
社家間美知子(福岡県) 油彩画



尾道飲食組合奨励賞
「よりみち」
井上雪人(山口県) 油彩画



尾道美術協会奨励賞
「淡淡」
鈴木聖峯(東京都) その他



尾道銀行倶楽部奨励賞
「尾道幻想2013—火伏観音のための下絵」
植松 誉(静岡県) 油彩画



コカ・コーラウエスト奨励賞
「尾道水道」
中谷孝史(山口県) その他



中国電力奨励賞
「今日も感謝」
庄司和子(兵庫県) 油彩画



日東電工奨励賞
「輝きの尾道」
桜井敬史(東京都) 日本画



日立造船奨励賞
「渡し舟とクレーン」
城野秀世(京都府) 油彩画



広島ガス奨励賞
「渡し橋」
菅野美穂子(広島市) アクリル画



プレス工業奨励賞
「尾道の記憶」
黒住 亨(岡山県) 油彩画



丸善製薬奨励賞
「眺」
永田秀孝(福岡県) 油彩画

図録・絵はがきの販売

第15回展入賞作品を掲載した図録と絵はがきを展覧会に合わせて販売します。

◎図録:1,500円
(カラー約60頁)

◎絵はがき:400円
(カラー10枚入)

取扱場所 市立美術館、尾道絵のまち館、啓文社市内各店ほか

もくじ

- 2 新年のごあいさつ、年頭のごあいさつ
- 4 第15回絵のまち尾道四季展
入賞作品紙上展
- 6 トピックス、カメラさんぽ ほか
- 8 申告相談を行います～申告はお早めに～
- 10 暮らしの窓
水道管にも防寒対策を！／電子証明書の発行が必要な人はお早めに／清掃ほか
- 13 健康・福祉
ノロウイルスによる感染症が急増しています！／休日当番医／国保財政 ほか
- 16 子育て
定期健診など／赤ちゃん訪問／就学援助ほか
- 19 スポーツ
- 20 芸術・文化
第23回尾三地区フェスティバル／映画「東京家族」上映会／図書館の催し ほか
- 22 情報アラカルト
夜間通行止規制のお知らせ～県道栗原長江線～／二宮清純講演会／人権文化講演会／普通救命講習Ⅰ ほか
- 27 相談
- 28 協働通信シリーズ⑩
フラワーカーペット尾道
ボランティア募集

今月の表紙



第15回を迎えた全国絵画公募展「絵のまち尾道四季展」は、2年に1度開催しています。今回は、油彩画、日本画など計1,047点(825人)の応募がありました。入賞作品を4・5頁で紹介していますので、力作をご覧ください。

協同組合ベイタウン尾道と災害協定を締結



12月20日、協同組合ベイタウン尾道との「災害時における支援協力に関する協定」締結式が、市役所で行われました。

この協定は、市内で大規模な災害が発生、または発生のおそれがある場合に、協同組合ベイタウン尾道に支援協力を求めるものです。

災害発生時には、食料や生活必需品など応急生活物資の供給を迅速に行うことにより、住民生活の早期安定を図ります。

本市では、平成23年10月に生協ひろしま・日立造船因島生協、平成24年2月に株式会社ユーホーと同協定を締結しています。

トピックス—Topics—

全国表彰、全国大会出場（市長表敬訪問／敬称略）



平成24年度生涯スポーツ功労者及び生涯スポーツ優良団体文部科学大臣表彰
長江子ども会陸上部

◎平成6年に結成以来、数多くの全国大会出場選手を輩出するなど、様々な競技会で優秀な成績を収めています。



平成24年度社会貢献青少年表彰
山波地区子ども会

◎地域の祭りや伝統行事において中心となって活動することで、子どもたちが地域とつながり、まちづくりに貢献しています。



第92回全国高等学校
ラグビーフットボール大会
(12/27～1/7＝大阪府)
尾道高等学校ラグビー部

◎11月18日に行われた広島県予選で優勝し、本大会への出場が決定しました。



カメラさんぽ



「やまなみ自然学校」開校！

12月7日、千光寺公園周辺で、長江小学校と土生小学校5年生が、しいたけ植菌作業等の林業体験学習を行いました。体験学習後には、地産地消の食材で作られた給食と、自分たちで作った焼き芋をグラウンドで仲良く食べました。

プロゴルファー上平さん来庁

12月18日、尾道市出身のプロゴルファー上平栄道さんが、母校の原田中学校で講演を行いました。講演前には市役所を訪れ、市長と歓談しました。



世界でたった一つの「凧」完成！

12月8日、瀬戸田市民会館で「凧づくり教室」があり、7人の小学生と保護者が参加しました。参加した子どもたちは、それぞれ自分の名前をモチーフに色とりどりの凧を作りました。



「自画像」似てるかな

12月9日、市内の小学生がアートスクールバスに乗って、平山郁夫美術館に行きました。尾道市立大学の先生から絵の描き方等、アドバイスを受けながら、それぞれの自画像を一生懸命に描きました。

国際交流コーナー

このコーナーは、国際交流に関するイベントや留学生等による文化の紹介・体験などを掲載します。

尾道市国際交流推進協議会事務局(秘書広報課内) ☎0848-25-7395

留学で変わった人生

松本 浩明

皆さんはラオスという国をご存知でしょうか。東南アジアのベトナム・カンボジア・タイ・ミャンマー・中国に囲まれた海のない国です。人口は約600万人で、東京都の半分ほどです。また、たくさんの少数民族からなる国で、公用語のラオス語を母語とする人も人口の60%くらいしかいません。

私がラオスの大学に留学したのは、10年ほど前になります。大学時代に発展途上国の経済問題に関心をもち、「世界最貧国」であるラオスを中心として勉強していました。その頃はGDPや識字率などのデータから、きっと働けど働けど貧しいのだと思っていました。

恩師の勧めもあり、大学4年生の夏休みに現地に行ってみると、考えていたのとはまったく違う世界がそこにはありました。



数点しか調理器具がないのに何でも作れるキッチン、種を蒔いておけば何でも生える畑、メコン川に沈んでいく太陽、そして幸せそうな人びと。すべてが、これまでの価値観を揺るがすものでした。

留学中は、家賃が1カ月43ドル。生活費は1日2ドルで生活しまし

た。毎日市場に行って値段を交渉しながら食材を集めるのは本当に楽しかった。冷蔵庫が家にあるよりも、近所に市場があって、その日に食べる分だけ採れたての新鮮な野菜を買うことができるのが、どれほど豊かなのか知ることができました。



しかし、生活をする中で幸せそうなラオスの人も、これは不幸だなと思うこともできました。それは人生の選択肢が限られているということです。外国に自由に行くこともできなければ、職業の選択もそれほど多くはありません。

しかし、日本語を教えていた生徒の中の一人がガイドになって、人生を変えていくのを目の当たりにしました。

そういった経験から選択肢を増やすには「教育」しかないのかなと考えるようになりました。そして大学の年間プログラムが終わってすぐに帰国し、大学院に入り教員になるための勉強を始めました。

紆余曲折を経て現在は、隣の自治体の教壇に立たせていただいています。また、尾道の日本語教室でボランティアをしていますので、留学やお仕事で来られた方、教室に遊びに来ませんか。